

浅科人権文化センター運営委員会会議録（概要版）

会議名	令和2年度浅科人権文化センター運営委員会	
日 時		
浅科人権文化センター運営委員会書面により開催		
会議事項		
(1) 令和元年度浅科人権文化センター事業報告について		
(2) 令和2年度浅科人権文化センター事業計画（案）について		
会議事項に関する意見		
(1) 佐久市では、望月人権文化センター、浅科人権文化センター、中央隣保館で職員が講師としてパソコン教室をやっているが、3館統一してパソコン教室をする必要はない。それぞれの館の実情に応じて教室をやるべきである。もしパソコン教室をやるのであれば、職員ではなく、講師を頼むべきである。 → 浅科人権文化センターでは、来年度は講師をお願いしてやる方向で検討します。		
(2) 浅科人権文化センターの小中学生を対象とした英語教室を継続してやってもらいたい。 → 浅科人権文化センターの特徴的な事業の一つとなっており、また受講生の保護者からも継続してやってもらいたいという要望もありますので、来年度以降も事業を継続してやります。		
(3) 人権啓発事業はとても重要であるので、取り組みを強化していただきたい。市で行っている人権講座の講師は、関西方面の講師がよい。また、部落問題や隣保館事業について学習する場となるようにしていただきたい。 → 隣保館は人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティーセンターとして位置づけられた施設であります。部落問題や隣保館事業について学習できるようご意見を参考にさせていただきながら、人権講座を計画していきます。		